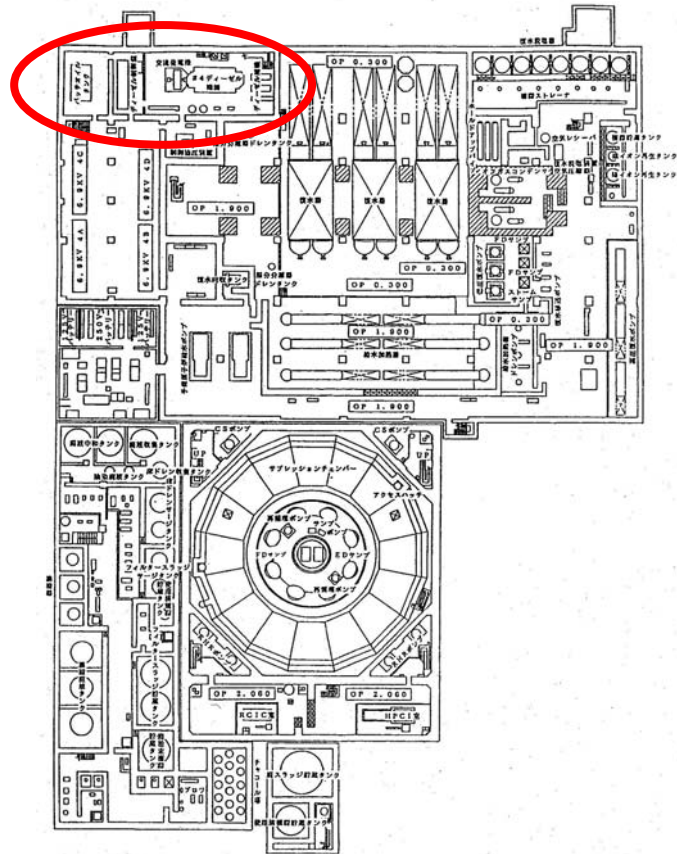


非常用ディーゼル発電機はどこにあった？

今回の原発事故の発端の一つが、津波襲来による非常用ディーゼル発電機の停止だった訳ですが、福島 2/3/4 号機は全て、タービン建屋の地下 1 階においてあります。下記に、設置許可申請書で公開されている 4 号機の例を示します。図の上側がタービン建屋で、更に上側が海です。非常用ディーゼル発電機という安全上重要な設備の配置が、タービン建屋という耐震性の低い建屋で、しかも最も海側、かつ地下 1 階、という設計だった、ということです。但し、今回、非常用ディーゼル発電機が停止した理由は、海側の冷却系または軽油タンクが津波で破壊されたから、という説もあります。なお、1 号機は、タービン建屋の 1 階に置いてありました。

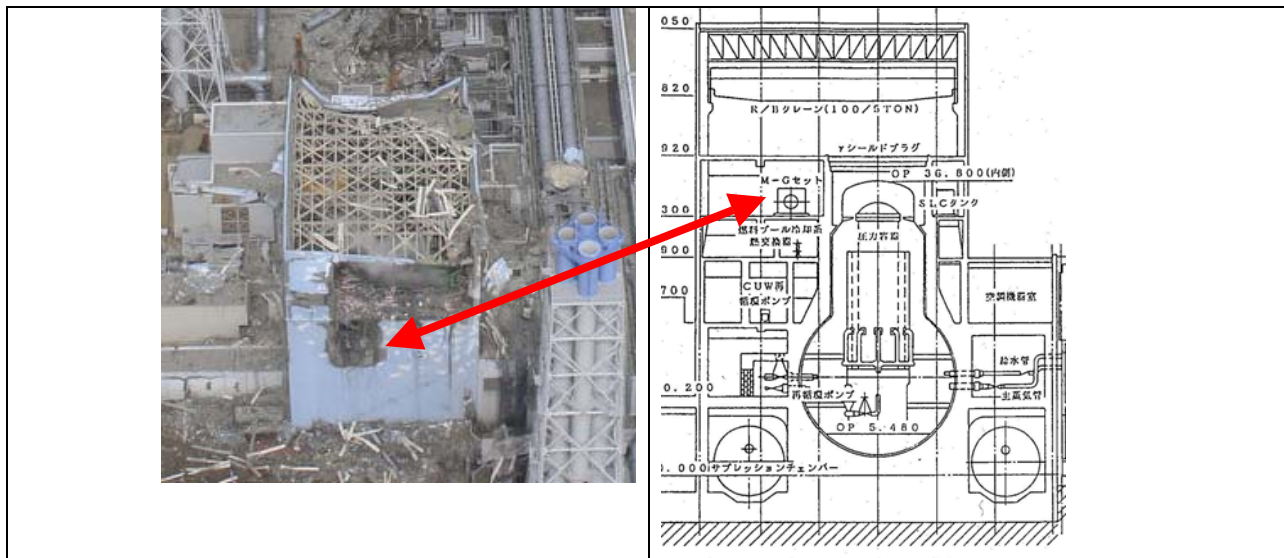


2011-4-27 記

4号機の火災で、何が燃えたのか？

3月15日に4号機の4Fで火災がありました。4Fが燃料プールの大部分なので、燃料プールの燃料が高温になったことが火災の背景原因と考えられますが、3/20の航空写真だと、4Fの1箇所だけが孔が開いているので、ここは何がある場所か、確認してきました。下記に、設置許可申請書で公開されている4号機の例を示します。

ここにあったのは、「MGセット」(Motor-Generator set)と呼ばれる設備で、炉心を冷却するための再循環ポンプの回転数を調整する目的で、モータと流体継手と発電機を組み合わせた再循環ポンプ電動機用の駆動電源装置です。油を使っているので、ここが火災になったと考えられます。



2011-4-27 記